

平成21年10月30日

各 位

上場会社名 株式会社サノヤス・ヒシノ明昌
 代表者名 代表取締役社長 上田 孝
 (コード番号 7020 大証第1部)
 問合せ先責任者 代表取締役副社長執行役員 森本 武彦
 経理部担当
 (TEL 06-4803-6171)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月15日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期 第2四半期累計期間の連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	36,700	750	450	200	6 14
今回修正予想 (B)	34,302	△ 438	△ 490	△ 295	△ 9 08
増減額 (B-A)	△ 2,398	△ 1,188	△ 940	△ 495	-
増減率 (%)	△ 6.5	-	-	-	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	32,324	1,369	1,394	98	3 02

平成22年3月期 通期の連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	85,400	4,300	3,800	2,150	66 00
今回修正予想 (B)	90,000	4,500	4,200	2,300	70 60
増減額 (B-A)	4,600	200	400	150	-
増減率 (%)	5.4	4.7	10.5	7.0	-
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	71,137	1,185	1,225	△ 286	△ 8 80

平成22年3月期 第2四半期累計期間の個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	33,500	850	550	250	7 67
今回修正予想 (B)	30,670	△ 485	△ 556	△ 336	△10 31
増減額 (B-A)	△ 2,830	△ 1,335	△ 1,106	△ 586	-
増減率 (%)	△ 8.4	-	-	-	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	27,391	898	916	△ 148	△ 4 57

平成22年3月期 通期の個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	78,400	4,500	4,000	2,300	70 60
今回修正予想 (B)	83,700	4,800	4,500	2,500	76 74
増減額 (B-A)	5,300	300	500	200	-
増減率 (%)	6.8	6.7	12.5	8.7	-
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	61,848	552	560	△ 614	△ 18 87

修正の理由

連結・個別

第2四半期累計期間の連結および個別業績は、売上高については船舶部門においてゴライアスクレーン2基のフル稼働に伴う生産性向上により新造船の工事進行基準適用額が当初見込みよりも増加するものの、第2四半期末に引渡しを予定していた工事完成基準適用の新造船が第3四半期期初となったことにより減少するものであります。利益面につきましては、上述の新造船に適用される工事進行基準の進捗による売上増加に伴う売上総利益も増加しますが、陸上部門における観覧車保証工事費用が設計変更並びに補修方法の変更を余儀なくされたことから当初見込み額より増加することとなり表記の業績となるものであります。

平成22年3月期通期の連結及び個別業績は、船舶部門における設備投資効果が上期に続き下期においても更に発揮されることから新造船の進行基準の進捗率が計画以上に改善すること、また鋼材価格も落ち着いたことが相俟って売上、利益とも期初予定から大幅に増加する見込みであり陸上部門の損益悪化を補って当初計画を上回る表記業績となるものであります。

なお、配当は従来予定どおり、期末配当として年5円を予定しており変更は有りません。

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上